

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業ビジョン

社会課題の解決を強く意識し、持続的な企業価値向上を実現する

連結営業利益
220億円以上

連結ROIC
7.0%以上

連結ROE
10.0%以上

GHG排出量削減
47.9%削減

② 中長期の経営戦略

1. 事業の位置づけ再構築

国内土木・建築・建築リニューアル事業をコア事業に。国際・不動産・新規事業を戦略事業に位置づけ

2. 知的資産の活用

既存事業の深掘りと新規分野の模索による「知の深化」と「知の探索」を実践

3. 競争優位源泉の強化

人材とデジタル技術を競争優位の源泉として競争力を確保

4. 提供価値の軸設定

脱炭素・廃棄物ゼロ・防災・減災の3つの提供価値を軸に事業展開

③ 対処すべき課題

① 労働力不足への対応

- ・技能労働者の減少に対応。時間外労働上限規制への対応を推進

② 市場構造の変化対応

- ・新設中心から維持・修繕への需要シフトに対応
- ・デジタル技術革新による構造変革への適応

③ サプライチェーン強化

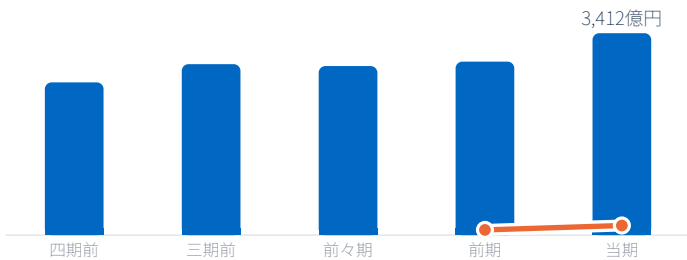
- ・協力会社との関係強化。原材料価格高騰への対応を図る

面接で使えるポイント

- ・2030年度に営業利益220億円以上を目指す長期経営計画で、脱炭素・廃棄物ゼロ・防災・減災の3つの価値を実現
- ・東急グループの一員として安心して快適な生活環境を提供し、東急ブランドの強化に貢献する建設企業
- ・人材とデジタル技術を競争優位の源泉として、既存事業の深掘りと新規分野の模索に取り組む

証券コード 1720

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,412億円営業利益率
4.8%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,028万円

建設業内 21位/140社

平均年齢
43.5歳

建設業内 68位/140社

平均勤続
18.0年

建設業内 34位/140社

女性管理職
1.6%

建設業内 86位/112社

男性育休
102.7%

建設業内 11位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: AI帳票解析サービス「Connected Base」が東急建

